

令和2年度第2回彦根市環境審議会の概要

日時：令和2年(2020年)11月16日(月)午前10時00分から午前11時50分まで

場所：彦根市民会館 2階 第3会議室

会議内容

●開会

●議題

第3期彦根市環境基本計画および地域行動計画(素案)について

・令和2年度第1回環境審議会意見への対応について

・数値目標について

●環境像について、第1回審議会で現行計画の「歴史と文化が暮らしにとけこみ ゆたかな自然と共に歩む ふるさと彦根」という環境像を、第3期計画でも引き継ぎ、サブタイトルを検討することとした。環境像に加えるサブタイトルとして、「～川、湖、みどりと歴史のまちを未来へ ひこねの環境SDGs～」を採用することを説明。SDGsはなじみ薄いが今後重要となるものであるため使用する。

●3Rの推進について理解しやすいように、「3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進」とする。

●エコツーリズムで、琵琶湖のごみを扱うなら修正をとのことから「漂着ごみ対策の推進」と修正。

●外来種の駆除について、在来種のイノシシやシカも重要との意見から、併せて扱うものとする。

●地域行動計画(重点行動)について、意識啓発だけの様に思われるため、市の具体的な取組を示す様にとの意見から、その内容を検討して取組内容を(素案)に記載しました。

●自転車利用:「レンタサイクルの利用台数」について、彦根市らしさの保全と活用の関連指標に加える。

●基本目標4の未来の地球を守るためのまちづくりについて。基本施策9ー緩和策の推進に、市域の温室効果ガスの排出量を、数値目標に加える。

委員からの主な意見

●基本目標1 人・自然・文化が調和するまちづくり、にSDGs14(海の豊かさを守ろう)を加えては。

→意見のとおりとします。

●プラスチックのごみの出し方は人によって異なっており、もっと分別方法の周知をした方がいい。

→分別の方法については「彦根市のごみの豆知識」という冊子で啓発している。

●指標に「ホテルの確認場所数」を挙げているのに施策の中にホテルという言葉が使われていない。

→素案にホテルと生活環境の関わりについての説明や、施策の内容に追加します。

●近年多発する大型台風や豪雨で発生する災害ごみや「災害廃棄物処理計画」について記載は。

→意見について記載を検討します。(基本目標3 水や資源の循環が進んだまちづくり、に記載)

●適応策として森林の整備が挙げられているが、森林吸収源の話であれば緩和策へ移動。適応策とし

て残すのであれば、災害に強い森づくりと分かるよう表記を変更してはどうか。

→意見について検討します。

⊙指標「市域の温室効果ガス排出量」について、国や県の削減目標、また、排出量を実質ゼロにする目標と整合を図ってはどうか。

→国や県の動向にあわせて今後見直しを行う旨が分かるよう注釈を追加します。

⊙地域行動計画の年度別テーマの彦根市保存樹木等保全事業の拡充は本計画として妥当か。

→掲載方法について検討します。

⊙閉会

生活環境課 環境保全係